

2012年版までのATテキスト正誤箇所・修正箇所（2013.4.1）

○第1巻 アスレティックトレーナーの役割

- ・ P27 右側 14行目
(訂正前)・・・スポーツ診は全国に普及し始める。
(訂正後)・・・スポーツ診療は全国に普及し始める。

- ・ P31 右側 e. 教育 下から6行目
(訂正前) 対処療法
(訂正後) 対症療法

- ・ P33 図 I-B-3 左側
(訂正前) アスレティックリハビリ
(訂正後) アスレティックリハビリテーション

- ・ P37 左側 最下行
(訂正前)・・・充実を計ることが、
(訂正後)・・・充実を図ることが、

- ・ P42 左側 d. 測定と評価のプロセス 10行目
(訂正前)・・・日頃のコンデショニングを
(訂正後)・・・日頃のコンディショニングを

- ・ P87 右側 3)コンディション管理 8行目
(訂正前)・・・手荒い、
(訂正後)・・・手洗い、

- ・ P95 左側 7行目
(訂正前) コミュニケーションの・・・
(訂正後) コミュニケーションの・・・

- ・ P110 左側 【アスレティックトレーナーの役割】
(訂正前) 1)スポーツ外傷・傷害の予防
(訂正後) 1)スポーツ外傷・障害の予防

- ・ P111 右側 c. 職務 5行目
(訂正前) 1)スポーツ外傷・傷害の予防
(訂正後) 1)スポーツ外傷・障害の予防

- ・ P118 左側 e)装具作成作業エリア 7行目
(訂正前) 加工する側は
(訂正後) 加工する際は

○第2巻 運動器の解剖と機能

- ・ P6 左側 a)屈曲 flexion と伸展 extension

(訂正前)足関節では屈曲を背屈 dorsiflexion, 伸展を底屈 plantarflexion という.

(訂正後)足関節では屈曲を底屈 plantarflexion, 伸展を背屈 dorsiflexion という.

※国際的には本テキストの訂正前の表記を用いることもありますが、本会は日本整形外科学会および日本リハビリテーション学会が制定する表示・測定方法に準ずるものとします。

○第9巻 スポーツと栄養

- ・ P14 左側 5)リン 3行目

(訂正前)カルシウムとリンの摂取比率として0.5~2がすすめられているが,

(訂正後)カルシウムとリンの摂取比率としてカルシウム1に対して0.5~2がすすめられているが,